

<本年度クラブ会長方針>

No.1538

**広げようロータリーの想い、職場に社会に**

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
 会長 大原敏正 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F  
 幹事 鬼頭茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

**ロータリーは機会の扉を開く**

<2020-21年度 R.I.テーマ>

R.I.会長 ホルガー・クナーク

**第1810回例会**

青少年奉仕月間

令和3年5月20日(木)

卓話

オンライン例会

・Zoomミーティング

会員53名

出席計算数

53名中53名出席

出席率100%

前々回出席率100%

**例会プログラム(リモート)**

★卓話

**ゲスト(リモート)**

元ロータリー平和フェロー

澤屋 奈津子

**会長挨拶**

大原 敏正

みなさんこんにちは。お元気で  
 でしょうか。今日の卓話者は、新し  
 く会員になられた方も本年2月号  
 の「ロータリーの友」で紹介されて  
 いましたので、ご存知の方もいら  
 っしゃると思います。2006年  
 から2008年にわたって、会長  
 年度で言いますと神田さん、堀江  
 さん、小澤さんの年度となります。  
 我が大須ロータリークラブの推  
 薦で「ロータリー財団国際親善  
 奨学生」として、イタリア・ポロ  
 ニヤ大学に行かれた後に「ロータリ  
 ー平和フェロー」となられて、国  
 際奉仕活動の実践を長くなされ、  
 世界で活躍のわいています。澤屋奈  
 津子さんです。今日は澤屋さんの



卓話を大変  
 に楽しみに  
 してしまし  
 たので、澤  
 屋さん宜し  
 くお願い致  
 します。  
 本日は歯  
 科医院での  
 放射線被曝  
 についてお

話します。歯科医院を訪れる患  
 者さんの中には、ごまかにレン  
 トゲン撮影を拒む方がいらっしや  
 います。理由は定期的に内科でレ  
 ントゲンを撮っているからという  
 方が多いのですが、全く拒否され  
 る方は基本的には歯科医院でも  
 先生のほうから、それでは治療は  
 出来ませんと言われてます。歯科の  
 治療では歯や顎の骨を対象とする  
 ため、レントゲン撮影は強力な診  
 断手段となるからです。

歯科医院で使われるレントゲン  
 は数本の歯を撮影するデンタルレ  
 ントゲンと、主として歯と顎関節、副  
 鼻腔を撮影するパノラマレントゲ  
 ンの2種類でしたが、近年は3次  
 元撮影をするCTデンタルレント  
 ゲンが普及して来まして。被曝線  
 量は0.02から0.04ミリシー  
 ベルトで、現在普及して来ている  
 デジタルレントゲンでは更にその  
 1/5から1/10と減らされていま  
 す。  
 一般的な医療を除く放射線の被

曝限度は年間1ミリシーベルトで  
 すが、自然界から受ける放射線は  
 年間1.5ミリシーベルトあり、東  
 京ニューヨーク間往復の航空機搭  
 乗で受ける被曝は0.03ミリシーベ  
 ルト、集団検診の胃の撮影では  
 0.6ミリシーベルト、頭のCT撮  
 影では2.0ミリシーベルト、心臓  
 や肺を視る胸部CTレントゲンで  
 は、6.0ミリシーベルトと格段に  
 多くの放射線を受けているので  
 勿論被曝のデメリットと治療診断  
 のメリットを考慮して撮られていま  
 すので、一概に被曝線量の多さだ  
 けで比較は出来ませんが、何れに  
 しても歯科医院での放射線被曝は  
 ご心配には及びません。  
 「リモート日、笑顔で過ごしまし  
 よう」ありがとうございました。

**卓話**

**元ロータリー平和フェロー**

澤屋 奈津子

「シエール共和国は政情が比較  
 的不安定であったり過激派・テロ  
 組織などが比較的活動な地域に囲  
 まれたサハラ砂漠にある内陸国。  
 国土は日本の4倍ほどあり230  
 0万人以上の国民数です。国連開  
 発計画(UNDP)の人間開発報  
 告書 2020 ([https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/ibrary/human\\_development/hdr2020.html](https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/ibrary/human_development/hdr2020.html)) に掲載された位が  
 続いており貧困や厳しい国の状態



から中々抜けられて  
 いない国の一つでも  
 あります。

モーリタニアの東  
 にマリがあり、マリ  
 の東にシエール。  
 マリ、アルジェリア、  
 リビア、チャド、ナイ  
 ジェリア、ベナン、ブ  
 ルキナファソに囲ま  
 れておりマリ・ブル  
 キナ地域にはアルカ  
 イダ、ボコハラムなど影響をかな  
 り受けています。残念ながら外務  
 省からは渡航を控えてくださいの  
 地域です。JICAの協力隊員も  
 2011年に国の安全性が悪化し  
 撤退を余儀なくされ、現在も協力  
 隊員は戻ってきていません。私を  
 含め、JICA事務所の職員とこ  
 家族、合わせても日本人は6人と  
 大使館も無く、協力隊員撤退後は  
 中々日本の方々に知っていただけ  
 る国としても遠ざかってしまいま  
 した。  
 モーリタニアの日本国大使館勤  
 務後、平和フェロー留学前まで働  
 いた国際移住機関(OMCIN  
 Migration Agency)の元上司  
 の紹介で、シエールのOMCIN  
 にて平和フェロー終了後より公衆衛  
 生及びOIMシエールの医療チ  
 ームのコーディネーターとして働  
 いています。平和フェローで公衆  
 衛生(母子保健)修了号を取得で

きたおかげです！

国際移住機関(<https://japan.ominia.jp>)は移民に関し幅広く

様々な領域で活動する国連の一体です。ニジエールでは特にアルジェリアから強制送還されてくるニジエール人以外の外国人が自国に戻ることを希望するのであればOMの一時宿泊施設に滞在し帰国の手続き及び帰国の支援、国境管理や緊急支援、地域の平和や安定などに力を入れています。私は様々な部署の公衆衛生や医療・保健に関することに携わっており、昨年からはコロナ担当もしているためニジエール滞在中は本場に忙しくしています。移民に関するところ、強制送還されてくる人達を含め現在の移民、以前どこかで働いていた自分の土地に戻ってきているような過去の移民、或いは未来の移民とならざる今の子どもたち、また移民たちを受け入れていく地域住民たちなど、国籍や年齢、性別や宗教などに関係なくどんな人たちでも対象とするところがアイディア次第でいろいろなことを企画することができると意外と興味深い機関でもあります。

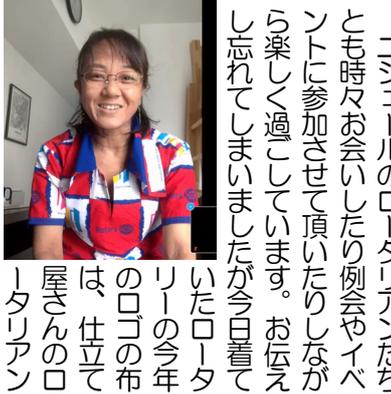


ポリオ撲滅を掲げ、ニアメの一角を歩きました。

学ばせていただいた母子保健を専門にはできていませんが、例えば私たちの保護下の移民が出産をした場合、赤ちゃんの出生届を必ずニジエールで取得し、その書類と予防接種の記録と共に自国に帰れるようにしたり、これまでは乳幼児連れの家族には粉ミルクを与えていたものをニジエール政府の生後のヶ月までは母乳で育てる方針に従い、また、移民たちの自国でも粉ミルクを続けて購入し続けることの困難さを考慮し、粉ミルクを与えることをやめ、健康面で可能な限りの母乳保育を奨励するようになっています。

強制送還されてくる移民たちに関しては、PCRテストを受けてからの送還ではないため、直接支援で働いている同僚たちの健康や移民たち自身の健康を守らなければならぬのですが脆弱な医療体制や私たちの支援できる範囲も限られてしまったため、本当に日々様々な交渉を同僚たちはニジエール政府やドナー国との間で行っています。また、こちらの移民たちはアルジェリアやリビアで、またはヨーロッパにより良い生活を求め移動を繰り返しながら本国の家族を支えている人たちが大半で、ニジエールに強制送還されてしまうと自分の家族や親せきに合わせる顔がなく、帰りたいのに帰ることが選べない葛藤の渦となり、

しかも、アルジェリアやリビアに比べたら貧困度の高さも高いニジエールの一時宿泊施設で憤りや葛藤が爆発することも多く大変な環境で皆仕事をしてくれています。大変ですがこのような環境、ニジエールに行くことがなければ知ることでもできなかった世界の状況とても貴重な経験をさせてもらっており日々感謝しています。



ロータリーの今年のお店で縫製していただいた洋服です。白黒版もありますが、また次回お目にかかれる際に着せていただきますね。

ロータリーの今年のお店で縫製していただいた洋服です。白黒版もありますが、また次回お目にかかれる際に着せていただきますね。国際親善奨学生以来、常にロータリーの皆さまに感謝しています。今回の一時帰国で田中作治さんにもお礼を伝えることができました。私のカウンセラーを親善奨学生時代から努めてくださっている吉田隆彦さまはイタリアにもアメリカにも来てくださり、大須に戻るたびに会いしてくださり、本当に感謝しています。そして皆さまから長くご支援いただいて本

当に感謝しています。コロナが落ち着いて、コロナの予防法をあまり気にせず出席できる例会が早くできるようになると思います。どうもありがとうございます。



地区の集まり。私の向かいに居るのは同僚ですがロータリアンになりました！

### 地区研修・協議会報告 (5月13日オンライン例会) 次年度クラブ奉仕委員長 木村 吉甫

地区研修協議会のクラブ奉仕委員会にZoomにて参加いたしましたので、そのご報告をさせていただきます。

まず、ロータリー活動とは、世に有益な職業から一人一業種で選ばれた会員が、毎週一回開催される例会に集い、お互いが師となり徒となつて、集団で奉仕の心を学びつつ自己研鑽をする場であり、例会内活動と例会外活動に分けられます。その例会内活動とは、例会に出席して、事業上の発想の交換を通じ奉仕理念を研鑽し、自己改善を図る活動であり、これをクラブ奉仕と呼んでいます。次に、著名俊裕力バナーエレクトは、次年度の地区方針に「チェンジロータリー 新時代への成長

に」を掲げられました。時代の要求に対応できるロータリークラブに変化するため、内向き奉仕から外向き奉仕活動へ重点を移し、各クラブが外向き奉仕活動のできる委員会組織づくりをするよう強調されています。

最後に、ロータリーの本質を踏まえながら、クラブの活性化を進めていくためには、クラブの運営管理基盤を確立し、クラブ例会を通じて、活発で効果のあるプロジェクトを実践していく事が大切です。そこで、どのような心構えでクラブ運営に取り組みかについて、次の5項目について具体例を挙げてご説明いただきました。

- 1. クラブの運営管理
- 2. 例会とプログラム
- 3. 出席
- 4. ロータリー情報
- 5. 奉仕活動

以上をふまえて次年度クラブ奉仕につきまして、会長エレクトの春日井さんとよく相談をしていきたいと思っております。以上、ご報告でした。



公共イメーシ向上委員会  
小澤 幸男・横川 誠人  
住田 正夫・山口 正孝  
\*本文は、原則 頂いた  
原稿を転載しています。